

(社)日本家政学会中部支部 平成 23 年度 総会

次 第

1. 開会の辞 東 珠実
2. 挨拶
支 部 長 石原 久代
3. 議長選出
4. 議 事
報告事項
平成 22 年度事業報告ならびに平成 23 年度事業計画 (企画・長谷川えり子)
平成 22 年度決算報告ならびに平成 23 年度予算 (会計・佐藤 生一)

審議事項
第 1 号議案 支部規約改正(案)承認に関する件 (支部長・石原 久代)
第 2 号議案 平成 24・25 年度支部役員(案)承認に関する件
(役員選考委員長 佐藤 生一)
第 3 号議案 平成 24・25 年度本部理事候補者および代議員承認に関する件
(選挙管理委員長・成田 公子)
第 4 号議案 その他
5. 平成 22 年度(社)日本家政学会中部支部論文賞審査結果報告
(審査委員長・東 珠実)
6. 第 57 回(平成 24 年度)大会開催校に関する提案
開催校挨拶
7. 閉会の辞 東 珠実

平成 22 年度 (社)日本家政学会中部支部 事業報告

1. 第 55 回大会

期日：平成 22 年 9 月 18 日(土)

会場：愛知学泉大学 〒444-8520 愛知県岡崎市舳越町上川成 28

内容：午前—一般公開講演会

『大豆と健康』

講師 マルサンアイ株式会社 常務取締役 伊藤 明德 氏

昼食—産学連携プロジェクト「健康栄養弁当の開発」報告

午後—研究発表会 口頭発表 12 題、ポスター発表 25 題

参加者：正会員 69 名、非会員 13 名、学生 24 名 合計 106 名

2. 平成 22 年度総会

日時：平成 23 年 3 月 26 日(土)

椋山女学園大学

3. 研究活動

家政学関連院生・学生研究発表会

期日：平成 23 年 3 月 10 日(木)

会場：名古屋女子大学

内容：昼食—交流会

午後—研究発表 20 題

参加者：正会員 42 名、非会員 3 名、学生 59 名 合計 104 名

4. 若手の会

- (1)ミーティング 第 1 回 平成 22 年 5 月 22 日(土) 半田市亀崎 望洲楼 参加者 7 名
第 2 回 平成 22 年 8 月 7 日(土) 岡崎市 八千代本店 参加者 8 名
第 3 回 平成 22 年 9 月 18 日(土) 愛知学泉大学 (支部大会) 参加者 8 名
第 4 回 平成 22 年 1 月 22 日(土) 名古屋文理大学短期大学部 参加者 4 名
第 5 回 平成 22 年 2 月 19 日(土) 金城学院大学 参加者 8 名
- (2)勉強会 第 1 回 平成 22 年 5 月 22 日(土) 参加者 7 名
「ミツカン酢の里」見学、「酒の文化館」見学ほか
第 2 回 平成 22 年 8 月 7 日(土) 参加者 8 名
「まるや八丁味噌」見学、「カクキュー工場」見学ほか
第 3 回 平成 23 年 1 月 22 日(土) 名古屋文理大学短期大学部 参加者 4 名
講演『かまぼこのはなし』と試食
講師 名古屋文理大学短期大学部 山澤 正勝 氏
第 4 回 平成 23 年 2 月 19 日(土) 金城学院大学 参加者 8 名
山本 淳子 氏(名古屋女子大学)「アオサの話」
- (3)一般公開講演会 平成 23 年 3 月 10 日(木) 名古屋女子大学 参加者 104 名
『どう考える？ 食品の安全』
講師 国立医薬品食品衛生研究所 食品衛生管理部 春日 文子 氏

(4)ニュースレター

昨年度分(H P 掲載分)と今年度分を合わせて冊子(約 40 ページ)として 3 月中に発行

5. 研究助成

中部支部大会発表奨励賞

松原 尚子 氏(名古屋女子大学・院)「癒しに関与する織物の素材と色彩に関する研究」

杉浦 愛子 氏(愛知学泉大学)「高齢者の顔とテキスタイルの柄の関係」

中部支部院生・学生発表奨励賞

安田 怜未 氏(岐阜大学)「小麦伝統発酵食品の微生物による小麦低アレルギー化パンへの挑戦」

國枝 千恵 氏(椙山女学園大学)「夏季のブーツ着用が生理・心理反応に及ぼす影響に関する研究」

中部支部論文賞

家政学会誌 3月号発刊後、該当者を選出予定

6. 役員会

第1回 平成22年7月31日(土)

愛知学泉大学

第2回 平成22年9月18日(土)

愛知学泉大学

第3回 平成23年3月10日(木)

名古屋女子大学

7. 役員連絡会

第1回 平成22年6月19日(土)

名古屋女子大学

第2回 平成23年2月15日(火)

名古屋女子大学

平成 23 年度 (社)日本家政学会中部支部 事業計画

1. 第 56 回大会

期日：平成 23 年 9 月 17 日(土)

会場：三重大学 〒514-8507 津市栗真町屋町 1577

内容：午前—平成 23 年度総会

一般公開講演会 1

『伊勢神宮の衣食住』(仮題)

講師 元神宮徴古館農業館館長・現五十鈴塾塾長 矢野憲一氏

一般公開講演会 2

『家庭科における住領域教育』(仮題)

講師 住生活研究会代表 静岡大学教授 小川裕子氏

午後—研究発表会(口頭発表)

2. 平成 23 年度総会 平成 23 年 9 月 17 日(土) 三重大学

3. 研究活動

家政学関連院生・学生研究発表会

期日：平成 24 年 3 月上旬

会場：椋山女学園大学

内容：午後—研究発表

4. 若手の会

(1)勉強会

(2)一般公開講演会

5. 研究助成

中部支部論文賞 1 件以内

中部支部大会発表奨励賞 2 件以内

中部支部院生・学生発表奨励賞 2 件以内

6. 役員会

第 1 回 平成 23 年 7 月 30 日(土)

三重大学

第 2 回 平成 23 年 9 月 17 日(土)

三重大学

第 3 回 平成 24 年 3 月上旬

椋山女学園大学

7. 役員連絡会

第 1 回 平成 23 年 6 月 11 日(土)

名古屋女子大学

第 2 回 平成 23 年 9 月 17 日(土)

三重大学

第 3 回 平成 24 年 2 月 18 日(土)

名古屋女子大学

平成23年度収支予算書

平成23年3月26日現在

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

科 目	部会・支部名 (中部支部)	(単位:円)
	収支予算	
I 事業活動収支の部		
1. 事業活動収入		
①基本財産運用収入	0	基金の利息を計上
②入会金収入	0	
③会費収入	0	
④事業収入	180,000	
大会等収入	180,000	支部大会参加費2,000×80名、広告代20,000円
⑤補助金収入	0	
⑥寄付金収入	0	
⑦雑収入	0	普通預金の利息を計上
⑧他会計からの繰入金収入	492,000	
本部交付金	492,000	本部交付金 40万円+368名×250円
事業活動収入計	672,000	
2. 事業活動支出		
①事業費支出	787,000	
支部大会費	380,000	
公開講演会開催経費	90,000	講師謝礼44,444円等
研究発表会開催経費	200,000	
研究発表要旨集代	90,000	要旨集等印刷費
院生・学生研究発表会費	210,000	
研究発表会開催経費	170,000	
研究発表要旨集代	40,000	
研究奨励費	40,000	優秀賞1万円×1名、奨励賞5千円×4名、賞状等経費1万円
若手の会活動費	70,000	
勉強会諸経費	20,000	
公開講演会開催経費	50,000	
広報費	87,000	ホームページ管理費
②管理費支出	181,000	
総会費	30,000	
会議費	15,000	役員連絡会議諸経費
旅費交通費	120,000	役員連絡会議交通費
通信運搬費	10,000	
消耗品費	3,000	
印刷費	3,000	役員連絡会議資料印刷費
③他会計への繰入支出	0	
事業活動支出計	968,000	
事業活動収支差額	▲ 296,000	
II 投資活動収支の部		
1. 投資活動収入	0	基金(定期貯金)取り崩した際に計上
2. 投資活動支出	0	基金(定期貯金)を積み立てた際に計上
投資活動収支差額	0	
III 財務活動収支の部		
1. 財務活動収入	0	
2. 財務活動支出	0	
財務活動収支差額	0	
IV 予備費支出		
当期収支差額	▲ 296,000	
前期繰越収支差額	585,718	
次期繰越収支差額	289,718	

一般社団法人 日本家政学会中部支部規約（案）

本支部規約は（社）日本家政学会定款をもとにして定める。

（名称）

第1条 本支部は一般社団法人日本家政学会中部支部と称する。

（事務所）

第2条 本支部の事務所は支部長の任地に置く。

（目的）

第3条 本支部は支部の家政学ならびにその教育に関する研究の促進と普及をはかることを目的とする。

（事業）

第4条 本支部は前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 研究発表会の開催
- (2) 講演、講習会の開催
- (3) その他必要な事業

（会員）

第5条 本支部は中部地方に在勤あるいは在住する日本家政学会会員をもって組織する。

（役員）

第6条 本支部に次の役員をおく。

支部長	1名
副支部長	1名
幹事	15名以内
庶務幹事	1～3名
会計幹事	1～2名
企画幹事	1～2名
監事	2名

（役員を選出）

第7条 役員を選出は次の通りとする。

- (1) 支部長、副支部長、幹事および監事は支部会員の中から選出し、支部総会の承認を受ける。
- (2) 庶務幹事、会計幹事、企画幹事は支部長が指名し、役員会の承認を受ける。

（役員の仕事）

第8条 役員の仕事は次の通りとする。

- (1) 支部長は支部を代表し、会務を統轄する。
- (2) 副支部長は支部長を補佐し、支部長に事故ある時はその職務を代行する。
- (3) 幹事は支部の業務を審議し、執行する。
- (4) 庶務幹事は支部の庶務の任にあたる。
- (5) 会計幹事は支部の会計の任にあたる。
- (6) 企画幹事は支部の企画の任にあたる。
- (7) 監事は支部の業務および会計の監査を行う。

(役員任期)

第9条 役員任期は2か年とし、再選を妨げない。但し、同じ役職を3期以上つづけることはできない。尚、役員交代は本部役員交代時と同一とする。

(会議)

第10条 通常総会は年1回支部長が召集する。

- (1) 総会は支部の重要事項について議決する。
- (2) 役員会は支部長が適宜召集し、議長となる。

(会計)

第11条 支部の会計は本部からの交付金、その他によりまかなう。
会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(役員解任)

第12条 役員については、支部総会の決議によって解任することができる。

(事業計画及び予算)

第13条 支部の事業計画及び予算については、別途定める様式にて学会理事会に報告するものとする。

(事業報告及び決算)

第14条 支部の事業報告及び決算については、別途定める様式にて学会理事会に報告するものとする。

(規約の変更)

第15条 本規約の変更は支部総会の議を経て決定し、本部理事会に報告する。

附則

- 1 この規約は昭和59年7月14日から施行する。
- 2 この規約の実施に関わる細部に関しては別に定める内規による。
(昭和59年7月17日 臨時総会にて可決)
- 3 この規約は平成9年11月1日から改正施行する。
- 4 この規約は平成12年10月15日から改正施行する。
- 5 この規約は平成16年9月17日から改正施行する。
- 6 この規約は平成22年5月29日から改正施行する。
- 7 この規約は平成23年9月17日から改正施行する。

平成 24・25 年度支部役員

- 支部長** 石原 久代 (名古屋女子大学)
- 副支部長** 岸本 満 (名古屋学芸大学)
- 幹事** 橋本 令子 (愛知1・椋山女学園大学)
横田 義男 (愛知1・名古屋文化短期大学)
上野 顕子 (愛知1・金城学院大学)
辻原 命子 (愛知2・名古屋女子大学短期大学部)
原田 妙子 (愛知2・名古屋女子大学短期大学部)
長谷川えり子 (愛知3・愛知学泉短期大学)
佐藤 生一 (愛知4・名古屋文理大学短期大学部)
長野 宏子 (岐阜・岐阜大学)
三輪 聖子 (岐阜・岐阜女子大学)
中島 喜代子 (三重・三重大学)
服部 由美子 (福井・福井大学)
可部野 和子 (石川・金沢学院短期大学)
金田 桜子 (富山・富山短期大学)
松岡 英子 (長野・信州大学)
- 監事** 東 珠実 (椋山女学園大学)
成田 公子 (名古屋女子大学短期大学部)

平成 24・25 年度本部理事候補者および本部代議員

理事候補者 東 珠 実 (椋山女学園大学)
石原 久代 (名古屋女子大学) 支部長
小川 宣子 (中部大学)

代 議 員 池田 彩子 (名古屋学芸大学)
尾島 恭子 (金沢大学)
岸本 満 (名古屋学芸大学)
冨田 明美 (椋山女学園大学)
長野 宏子 (岐阜大学)
中島 喜代子 (三重大学)
平林 由果 (金城学院大学)